



令和元年度 埼玉大学教育学部附属特別支援学校グランドデザイン



有識者会議報告より

- 多忙化解消
- 地域のモデル校
 - ・地域に活用される研究成果
 - ・教育委員会との連携
- 大学・大学院との研究連携
- 教育実習校+現職教員研修の役割
- 大学のミッション
- 第3期中期計画

国

大学

学校教育目標

自己実現を目指して物事に積極的に取り組み、
生き生きと社会生活のできる児童生徒を育成する



教育学部より（本校の性格）

- 教育実習校
- 教育実践研究校
- 特別支援教育推進校

本校の現状

- 業務の多さ・学校研究の負担感
- 会議時間の長さ、土日勤務
- 教員体制・学校設備

教育方針（目指す学校像・学校教育目標前文）

保護者とともに知的障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指し、生活に即した学習や体験的な学習を通し、一人一人の持てる力を最大限に発現させることによって、社会の主体としてたくましく生活できる子どもを育てる

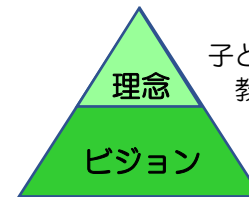
本校の使命

- 保護者とともに子どもの成長を支える学校
- 授業づくりを大切にする学校
- 地域の特別支援教育を推進する学校
- 埼玉大学学部生・大学院生を育成する学校

今年度の重点・努力点

指導支援の充実	将来を見据え、自立と社会参加に向けた指導の充実 (自立と社会参加、将来像、合意形成)
教育環境づくり	安全で安心して生活できる環境づくり (いじめ・体罰を見逃さない、安全意識の向上と徹底)
授業実践力の向上	実践的指導力の向上を図る工夫 (校内研修の充実、個人研究、情報発信)
関係機関との連携	家庭・地域・大学との連携の強化 (共通理解、社会自立、連携した教育活動、専門的助言)
特別支援教育の推進	チームとしての特別支援教育の推進 (校内外の教職員との協働、研究事務局、指導者派遣)

本校が目指すもの(ビジョン)



子どもの成長が感じられ、子ども・保護者・教職員が元気になる学校に

よい授業、よい支援で、子どもたちが変わる・地域に貢献する

チームワークで個性が光る

ハッピーターン 2.0（在り方・働き方改革）

- 本校の使命の明確化
- 長時間勤務の是正・業務の精選
- 専門性のさらなる向上

